



# あさひ

学校便り 6月号  
令和2年6月1日  
横浜市立旭小学校

昭和34年4月18日制定

<旭小学校ホームページ> 随時更新しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/index.cfm/1.html>



## 学校における「新しい生活様式」

校長 高桑 透

日差しの強さが徐々に感じられるようになり、季節は確実に移り変わっていると感じます。社会全体は新型コロナウイルス（COVID-19）感染症により、ここ数か月間はまるで時間が止まってしまったかのようなようでした。特に子どもたちのいない学校は、今までとは全く違った姿であり、まるで空っぽの大きな箱のようでした。

この期間、子どもたち、ご家庭の皆様には、大変大きなご負担をおかけいたしました。各ご家庭では、感染症対策をしながら、子どもたちの学習課題へのアドバイス、起床・食事・睡眠などの生活リズムの確立と維持、そして何よりも自粛生活からくるストレスや先の見えない不安に対する心のケアなどを、これまでにない大きな負担とご苦労をおかけしました。おかげさまで無事に学校を再開することができました。ご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

先週、各担任よりご家庭に電話連絡をさせていただきました。概ね規則正しい生活をして、学習課題にも計画的にしっかり取り組んでいるという様子が多くうかがえ、少し安心しました。しかし、ゲームやYouTubeなどに接する時間が多くなってしまっているということもありました。ある程度は予想できましたが、学校再開で元に戻せるかどうか、どのように戻していくかが大切になります。また、担任とお子さんたちとの会話を聞いていると、先生たちが本当にうれしそうに話している姿がとても印象的でした。その電話の向こうには、きっとお子さんたちの笑顔があったと想像できます。子どもたちはこの休校期間を通して、改めて「学校に行きたい、みんなに会いたい、話したい、遊びたい。」という気持ちになったのではないのでしょうか。子どもたちの思いにしっかりと応えられるような教育活動を、いろいろな制約がある中でも工夫して行っていきます。

再開後の具体的な体制については、同じ鶴見区内の各学校とも情報交換をしましたが、それぞれ実態が異なるため、様々な形態がとられています。どれが正解ということはないと思いますが、本校では、①クラスを半分程度に分けて教室の人口密度を低くするための分散登校、②生活リズムを確立するために午前中での短縮授業、を主眼として、第一期と第二期の計画を立てました。第一期は、午前中のみ隔日登校となります。あえて午後からの登校というスタイルはとりませんでした。また、第一期は、休校中の学習範囲を補完するための振り返りや補充学習が中心となるため、1単位時間を30分として、ゆとりをもった時程を組みます。子どもたちが下校した後の時間には、学習保障のための補習や、個人面談を、また教職員による校内の消毒作業を徹底して行います。

実は、学校が再開したからと言って、すぐに元の生活に戻るわけではありません。「新しい生活様式」と呼ばれる行動様式が、学校生活の中でも求められます。再会を楽しみにしていた友だちとも一定の距離を置いて接しなければなりません。肩を組んで大きな声を発して歌ったり、話し合ったり、笑い合ったりすることも制限されます。とても難しい状況ではありますが、子どもたちの安全・安心のために学校における「新しい生活様式」について、しっかりと考えて取り組んでいきます。

### 6月の取組目標

生活目標

きれいな学校にしよう

保健目標

病気や虫歯をなくそう

清掃目標

雨具のしまつをじょうずにしよう

給食目標

清潔に心がけて食事をしよう

### 着任した職員を紹介

松元 真一郎先生

個別級を担当します。  
よろしくお願ひします。